

平成29年度事業計画書

(平成29年4月～平成30年3月)

今年の春闘におきましては、大手企業では4年連続での賃上げが行われておりますが、日銀のマイナス金利政策が長い間継続されているにも関わらず、景気の回復感には至っておりません。このような中、当協会を巡る厳しい状況は依然として変わらず、新たな視点による事業の検討などにより、会員の増加並びに経費の更なる節減に取り組んでまいります。

自己収入につきましては、研修会の参加者が減少していることから、開催案内の送付先見直しや開催内容、参加費の見直しを行い、参加者の増加を目指します。

受託事業につきましては、「管財管理運営業務」の受託が決定しており、また、「新技術説明会運営業務」につきましても受託の経験による優位性等を生かして、継続して受託を目指します。また、昨年初めて受託した「大学発ベンチャー表彰運営業務」など、他の業務につきましても幅広く受託を目指します。

さらに、公益法人からも継続して調査受託ができるよう努めてまいります。

支出面につきましては、人件費を削減してまいりましたが、引き続き他の経費も含めて削減に取り組み、収支の改善を図ってまいります。

会員各位のご支援をいただきながら、努力を続けて改善を図り事業を継続してまいります。

I 自主事業

1. 技術情報提供事業

科学技術に関する有用な資料を提供する。

(1) 科学技術資料の提供

会員等に有用な科学技術関連資料として、JST産学連携事業に関する各種資料の提供を引き続き行う。

2. 交流促進事業

科学技術に係る研究者・技術者並びに企業の経営者等による各種の交流を促進することにより、科学技術についての情報交換を活発にするとともに、研究・開発の推進に資する。

(1) 研究・技術交流会等の開催

大学、公的試験研究機関並びに企業等に所属する研究者・技術者を核とした研究又は技術の交流会を開催する。

(2) 異業種企業間経営者交流会

研究・開発を統轄する経営者レベルの交流会を開催し、話題となっている研究者等による講演などを行う。

3. 研修会開催事業

研究会、セミナーを開催することにより、研究開発能力の向上と人材育成に資するほか、科学技術・経済等に関する知識を普及啓発するための講演会を開催する。

(1) 研究会の開催

異業種企業の研究開発担当者を対象に、研究開発の管理、課題の評価、知的財産権の取得・管理等並びに企業経営に大きな影響を与える危機管理など、各企業に共通の問題を捉えて、講師を中心とした研究会を開催し、参加者の自己啓発を図る。

(2) セミナーの開催

科学技術に係る最新知識の理解・習得を目的としたセミナーを開催し、研究開発能力の向上と人材育成に資する。

(3) 講演会の開催

科学技術・経済等幅広い問題や今後活用が進むと思われるテーマについて、産学官で活躍されている人を講師として講演会を開催し、知識の普及啓発に努める。

4. 研究施設等視察会開催事業

国等の研究機関をはじめ各種機関の研究開発に関係のある施設を訪ね、知識の向上を図る。

(1) 研究施設等視察会の開催

各地にある研究開発現場等を訪ね、研究者・技術者との直接の意見交換を行うことにより、知識の向上を図る。

5. 会報発行事業

講演会、交流会等の講演記録、協会が行った調査研究や各種事業の案内・紹介等に係わる記事、各種事業活動の内容を取りまとめた「年報」を作成する。あわせて印刷物から電子媒体への変更も検討する。

6. その他

公益法人等の助成を受けて、社会的要請の高いテーマについて調査研究を実施する。

II 受託事業

当協会のこれまでの経験、能力を活用して、科学技術に関する研究開発業務の支援に係る以下の業務を国立研究開発法人や研究開発関連公益法人等から受託して行うほか、新たに先端的な科学技術に関する技術情報の提供や当該分野の技術者の紹介等の業務を行う。

1. 研究開発調査業務

基礎・応用・開発研究、産学官連携、技術移転等に関するアンケート調査、追跡調査、情報収集、分析等の業務を行う。

2. 研究開発機器等管理運営業務

研究開発で使用される計測分析機器、有形・無形固定資産の管理、運営等の業務を行う。

3. 研究開発事業支援業務

研究開発事業に係る説明会や給与関係業務の支援の業務を行う。

4. その他の受託業務

- (1) 各種調査研究業務
- (2) 各種受付業務
- (3) その他の業務